

1. 評価結果概要表

平成20年 12月 22日

【評価実施概要】

事業所番号	2070200411		
法人名	医療法人心泉会		
事業所名	グループホームローズガーデン		
所在地	長野県松本市中山7497 (電話) 0263-57-8002		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年12月17日	評価確定日	平成21年1月20日

【情報提供票より】(20年 10月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤6人	非常勤0人 常勤換算6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	75,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり	51,000 円		

(4) 利用者の概要 (10月 1日 現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名	
要介護1		要介護2		3名		
要介護3	4名	要介護4		2名		
要介護5		要支援2				
年齢	平均	89 歳	最低	82 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上條記念病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは主要道路からやや奥まった高台に位置し、自然いっぱいの環境の中にある。同一医療法人が経営する老人保健施設・ケアハウス等に隣接した洋風のたたずまいである。施設の名前「ローズガーデン」にあるように、ホームの周囲・玄関等に沢山のバラの花が植えられていて、職員・入居者等の楽しみとなっている。管理者は精神科医であり、認知症ケアに於いて、グループホームの必要性を実感しつつ、理想のホーム作りに尽力されてきた。見学者の受け入れや、認知症ケア・グループホームに関する講演を積極的に行なう等、職員一体となって積極的に取り組まれている。医療と介護が一体的に提供出来る事は入居者・ご家族等の安心へと繋がっている。また併設施設の介護職員との交流・研修が毎月計画・開催されており、責任者・職員は豊富な介護経験を有し、適切なケアが提供され、接遇も良く、入居者のお元気な生活の様子が伺えた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	要改善点は特に記されていない。“さらなる充実を期待している”とあり、職員は真摯な姿勢で受けとめ、日々細部に渡って連携を行い、温かい目線で介護に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の様式での自己評価は全員が初めての取り組みであった。職員はサービス評価の意義や目的を理解し、全員で自己評価を行なっている。日常のケアを見直す機会となり、多くの気づきが得られ、改善していきたいことが明確に挙げられている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には隣接する地区の役職にある方や地域の代表者が多数、委員に参画していただいている。ご意見を頂く中で、地域の具体的な情報が得られ、活用に向けて検討中である。またホームの活動状況を報告し、ご理解を頂きながら、出された意見などは日々のサービスに取り入れるよう努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居にあたり、重要事項説明書に苦情受付担当者(併設施設の支援相談員)が明記され、ご家族が意見や苦情を気軽に表せることを説明している。その他、運営推進会議へご家族代表者の出席や「意見箱」などを通して意向の把握を行なうと共に、電話連絡やご家族の来訪時に意見交換をし、意向・要望を把握し、サービスに反映させている。また今後に向けて「家族会」の発足を検討中である。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームの立地条件上、隣近所とのつきあいは限られてしまうが、管理者は常に地域との結びつきを大切に捉えて、積極的に見学・学校交流等を受け入れ、地域の方々と交流を進めて来られた。内田地区のお知らせを頂く・埴原南町会と防災組織を編成し協力体制を頂く等、地域の協力が得られている。今後はホームから地域の活動に向向いて行く機会を持ち、地域のグループホームとして、気軽に行き来できるよう検討している。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームローズガーデンの運営理念を5項目掲げている。かけがえのない一人の人間として尊厳を保つなど、ケアサービスの基本となる方針を明記している。		事業者はグループホームの必要性にいち早く気づき、積極的に取り組んで来られた。これまで掲げてきた理念を遵守しつつ、地域密着型サービスとして何が大切かをチーム全員で確認しつつ、グループホーム・ローズガーデンの理念を作り上げて行かれることを望みます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び職員はホームの見やすい所に理念を掲示し、職員会議やカンファレンスに於いて確認・周知をはかり、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接の老人保健施設を含め、内田地区より行事等のお知らせを頂いているが、入居者や職員が地域の行事などに出向いての参加や交流には至っていない。地元の中山小学校の生徒の訪問や中学校の職業体験の受け入れ、その他近隣の方々との日常生活のつきあい等、前向きに取り組んでいる。		これまで様々な受け入れを行ない、地域のホームとして、交流に努力されてきた。さらに地域の情報を集め、自己評価にも記されているように、福祉広場の活用や地域行事への参加等、双方向の交流の機会が持てるよう、今後の取り組みに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を理解し、チーム全員で自己評価に取り組んでいる。この様式としては初めての取り組みであり、改めて管理者・職員一人ひとりが様々な気づきを得ている。また外部評価結果も含め、課題を明確にし改善へ向けて検討している。		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>およそ3～4ヶ月に1回開催され、ホームの活動・状況報告などを行い、委員の方々より意見や地域の情報等を頂いている。また既に頂いた情報の中から、有効な活用について検討中であると責任者より伺った。</p>		<p>今回の自己評価・外部評価の結果を会議で報告し、委員の方々より率直な意見を頂きながら、一体となって、より良いホーム作りに向け、具体的な取り組みがなされて行くよう期待します。また入居者の参加も今後に向け考慮されたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターより1名の出席を頂き、協議に参加して頂いている。必要があれば随時連絡・連携をとる意識・姿勢はあるものの、運営推進会議以外の具体的な取り組みには至っていない。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>カラー写真入りのグループホーム便りを発行、併設の施設を含めた“ローズ際”や四季折々の行事での様子は、特別号・特集号として発行し、入居者の日常の様子をお知らせしている。また入居者一人ずつの写真をファイルし、ご家族の来訪時に見ていただきながら面談を行い、来訪出来ないご家族には随時電話で対応している。なお職員の異動などについても適宜報告されるよう望みます。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に公的機関の担当窓口をお知らせする共に、併設施設を含めた支援相談の専門職を配置していることを伝え、気軽に活用(相談・要望を寄せて)していただくことを明記・説明している。またホーム内に「ご意見箱」を設置している。今後に向けて、市の介護相談員の派遣の受け入れや家族会の企画を検討中である旨を確認した。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>止むを得ない離職や併設施設間の異動はある。異動の際は、1ヶ月前よりホームに出向き、ケースの把握や入居者と顔なじみの関係作りを努力的にを行い、入居者への影響に配慮している。</p>		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修・年2回の継続研修を位置づけている。法人内では月1回「やりがい検討会」を計画的に組み、各セクション持ち回りで担当し、併設の施設職員との有効な研修に繋いでいる。なお1月はグループホームの発表担当であった。その他、県や市の研修にも参加し、職員育成に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	長野県宅老所・グループホーム連絡会の研修会へ参加している。さらに松本圏域のグループホームネットワークの活動への参加を行ない、より身近な同業者との交流を行なっていきたいとの意向を確認した。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者は法人内の医療や介護施設を利用しながら、入居に至るケースが殆どであるとお聞きした。その上で、徐々に利用回数を増やしていく等、ご本人の様子を見ながら、個別の対応を行なっている。またご家族やこれまで関わってきた関係者等と話し合い、相談しながらサービス利用に繋いでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者一人ひとりの力を把握し、その力が生活の中で発揮できるように関わっている。訪問した日は食事の後片付けの殆どを入居者が行なっている姿が見られ、職員が上手に関わっていた。日常生活支援の中で入居者と共に過ごしながら、学ぶ姿勢・支えあう関係を大切にして支援している。		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時の情報収集は基より、入居後の思いや意向の把握についても、ご家族の話や、日々の支援・コミュニケーションの中で、ご本人の意向を汲み取り、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>初回の計画書は介護計画作成担当者(責任者)が作成、その後は職員が2名位づつ担当し原案を作成、チーム会議で検討し、日常生活支援の中から把握したご本人の意向を反映させている。ご家族が来訪時に説明し要望などを取り入れた計画書を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の定期的な評価・見直しを行なうと共に、入居者の状況に合わせて随時、ご家族・チーム・関係者等と話し合い、見直し・修正へと、現状に即した介護計画書を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご本人やご家族の状況や要望に応じて、病院への付き添いを行なうなど、柔軟な支援を行なっている。ホームやホームの職員が有する多機能性を活かし、その時々々の要望に副う柔軟な自主サービスの提供について、チームで再確認されたし。</p>		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者やご家族の意向に副ったかかりつけ医となっている。ご家族の状況に応じては受診の付き添いの支援を行っている。また管理者は精神科の医師であり、入居者の状態について日常的に報告・連携を図り、適切な支援へ繋いでいる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の高齢化に伴い(最高齢者99歳)、重度化や終末期の対応が求められる。早い段階からご本人・ご家族・管理者(精神科医)等と話し合いを持ち、意向を把握し、チームで方針の共有に努めている。</p>		<p>話し合いを繰り返し行ない、状態に応じての感情や意向の変化を受け止めつつ、ご本人・ご家族の意向があれば、直ちに対応できるように、看取りへの支援体制づくり・終末期ケアについて、早期にチーム全員で取組まれることを期待します。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>トイレへの声掛けなど、ご本人のみに聞こえるよう、さりげなく話しかけ、プライバシーの確保や誇りを尊重した対応に努めている。また個人情報の取り扱いにも注意を払っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れは持っているが、一人ひとりの状態やペースを把握し、無理の無い支援を優先している。着たい服選び・おしゃれ・家事・雑巾作りやアクリルたわし作り等の手仕事、他思い思いに過ごせる支援を行なっている。</p>		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は併設の老人保健施設で調理され運ばれてくる。それを温めたり、味噌汁や“副副菜”の調理はホームで行っている。職員と共に味付けや盛り付け、食後の後片付け(食器洗い・お茶碗拭き)を行っていた。職員は一人ひとりの出来る力を大切に捉えて無理の無い支援を行っていた。また食事の前には必ずメニューを全員に分かりやすく紹介していた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日の大まかな流れの中で、入浴の時間が午前・午後に分かれ体制を整えている。その中で入居者の体調を把握し、タイミングに合わせて入浴の支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の家事を“はりあい”にしている入居者が多く、職員は上手にお願いをし、お礼の声をかけていた。食事の後片付けを行なう様子は、正に張り合いや喜びが伺えた。また茶道をしてきた方にはお茶をたてて頂いたり、ホームを訪れてくれる小学生に、広告で箱を畳みプレゼントする方もいて、その人らしい生活の支援を行っていた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺の散歩や季節ごとのお花見・紅葉がりなどに出かけたり、併設の施設で行なわれている工作教室へ出かける等の支援をしている。		特にバラの季節は、ホーム周辺に咲くバラを入居者も楽しみとして、周辺の散歩を楽しんでいると伺った。さらに近くの散歩だけではなく、馴染みの店や場所へ出かける等、一人ひとりが外出を楽しめる支援に取り組んでいかれるよう、検討を望みます。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けない生活の大切さを共有しており、日中は玄関の鍵は掛けていない。居室は常に自由に入出入り出来る様になっているが、稀に入居者が中から掛けることはある。入居者の気分や状態を把握し、外出する時はさりげない対応を行っていた。		

グループホームローズガーデン

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	併設施設と合同で火災避難訓練を年2回行ない、中山地区・消防の方々の参加・強力を得ている。埴原南町会とは防災組織を編成し、協力体制がとれるようになっている。今後も様々な状況を想定した取り組みを行い、入居者の安全の確保を願います。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	管理栄養士が栄養バランス・カロリーを考慮し献立を作成している。毎月の体重測定、毎日の食事量・水分量を記録し、一人ひとりの状態に合わせた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ワンフロアの中央に食卓(半円形の囲み型)があり、食卓の横に流し台(台所とは別で入居者が使いやすい)があり特徴的、窓側に一段高い畳のスペースがあり、クリスマスの飾りが置かれ、広々した中にも家庭的な雰囲気を感じられた。またホームで飼っている室内犬(躰られている)が入居者の共通の感心事や癒しとなっている。テレビを見ながら入居者同士の会話も見られ、思い思いに過ごされていた。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室の入り口は、入居者の名前と、一部屋ごと違うバラの花が描かれている。ベッド・テレビ・クローゼット等、備え付けの物を使用している。入居者は他の施設を利用して入居に至るケースが多い為か、ご本人がこれまで大切にしてきた物や馴染みの物の持込は殆ど見られず、その方らしい住まいの工夫・配慮が感じられなかった。		入居の際、ご家族にも持ち込み可能である事を伝えてしていると責任者より伺ったが、入居後もご家族等へ、十分働きかけをし、ご本人が居心地良く、安心して過ごせる居室となるよう、取り組みを希望します。

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。